

芸術家・草間弥生さんの作品



クレーンでつり上げられた巨大カボチャ

# 巨大カボチャ お帰り

2都市の出張展示終了

川 旭  
外 医 療 施 設

芸術家・草間弥生さんの作品で、秋田市外旭川の医療施設「外旭川サテライトクリニック」（芝山啓院長）のシンボルとして知られる巨大カボチャのオブジェが7日、東京、京都の出張展示を終え、約2年3カ月ぶりに設置された。クリニックの伊東威事務局長（40）は「お帰りをたいと言いたい。戻ってきたシンボルを多くの人に見てほしい」と話す。



巨大カボチャは、草間さんの作品を集める国立新美術館（東京）の展覧会「草間彌生 わが永遠の魂」への出展で16年12月に取り外し。翌17年2月から約3カ月間展示された。その後、同6月から先月末までは京都の「フォーエバー現代美術館祇園・京都」に展示。賃貸借契約満了と美術館閉館に伴い、クリニックの屋上に戻ってきた。

7日は午前9時から設置作業がスタート。分解された巨大カボチャを6人のスタッフがクリニック駐車場で組み立てた。シンボルが戻ってきた外旭川サテライトクリニック

さきがけ 動画



て、内側からボルトで固定。その後、クレーンでつり上げて屋上に設置した。作業は約2時間で終了した。

フォーエバー現代美術館祇園・京都で副館長を務めた照沼諭さん（40）は「京都でも美術館のシンボルとして活躍し、国内外の人から人気を集めた。秋田でまたシンボルとして活躍してほしい」と話した。巨大カボチャの「出張予定は当面ない」という。

（佐藤優将）